

大阪府訪問看護ステーション協会 訪問看護師ジェネラリスト研修 研修概要 2024年度用

研修番号	301
目的	1. 新たな社会ニーズに対応する能力向上に向けて、看護のキャリアに応じたジェネラリストを育成し、「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ役割の発揮と質の高い看護が提供できるよう支援する。 2. 小規模施設での勤務者やセラピストに対して、他職種協働の学習の機会を提供する。
研修目標	1. 訪問看護において、安全・安楽な看護を提供するために必要な知識・技術を学び、他職種と協働した看護実践の一助とする。 2. 他職種と協働した支援における課題を明確にすることができる。
対象	※看護実践能力習熟段階ラダーⅡ（日本看護協会） ※大阪府内の訪問看護事業所に従事する看護職および、学びなおしやスキルアップを希望する看護職・セラピスト（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）

コース	A
受講人数	50

ZM=Zoom

※ 研修10分前にオリエンテーションを行います。 入室は12時45～

コース	日程	時間	方法	講義概要	内容	到達目標	講師名	職種	職位等	所属
A 安全管理	9月10日 (火)	13:30 ～ 14:30	ZM	リスク マネジメント ・ハラスメント	・訪問看護の現場における利用者・家族によるハラスメント対策	訪問看護の現場におけるハラスメント、リスクマネジメントの取り組みの現状を知り、具体的な対策・対処方法について考えることができる。	武 ユカリ	教員	教授	森之宮医療大学 看護学部看護学科 在宅看護学 森之宮医療大学大学院 保健医療学研究科 看護学専攻
		14:40 ～ 15:40	ZM	医療安全管理 ・感染管理	・在宅におけるリスクマネジメント ・医療安全・感染管理	在宅における感染管理および医療安全のリスクマネジメントを理解し、安全・安心な訪問看護について考えることができる。	水取 恵子	NS	管理者	セコム豊中訪問看護 ステーション
		15:50 ～ 16:50	ZM	災害看護	・災害時の訪問看護 ・利用者の生活を守るための事前準備	防災・災害時の対応について理解し、発災時および今後に向けた自施設のBSC計画の活用をイメージすることができる。	村田 一美	NS	管理者	フリーステーション 訪問看護ステーション

資料送付	※目安として、研修の1週間前 ※資料の再送はいたしません。送付先の住所については郵便物が届くよう明記してください。
受講証明書	※原則、当日受講参加確認ができた受講生に発行

